

## 三田村委員ご意見

## 1 水道水源への影響等について

- (1) 周辺での深井戸による地下水揚水の影響により、難透水層の傾きだけでは地下水流向は推察できない。
- (2) 水道部の揚水の影響で、参考資料 1 の P54 の第四帯水層群の地下水の流れは水道部の揚水井付近に向くような流れとなっているだろう。
- (3) 第一帯水層を中心とした汚染は、より下位に分布する何層かのしっかりとした難透水層の存在により、汚染が下位層に進行しにくい状態が保たれていると考えられる。
- (4) 水道部の井戸が揚水対象としている帯水層の水位は、その揚水によって、おそらく、参考資料 1 の P54 の第一、二帯水層の水位より低い可能性があり、難透水層からの漏水が生じている場合、汚染は深い所に広がるおそれがある。
- (5) 水道部の井戸の水位は計れないか。

## 2 緊急対応について

- (1) 大阪外環状線鉄道施設工事等の南吹田地域の工事の影響かどうか不明だが、汚染の広がりが見られることから、根本的な対応にならないまでも汚染をこれ以上広げないような対応が必要である。
- (2) 対策案を作るのに数年かかるということであれば、何もしないわけにはいかない。浄化対策の前段階の対応は必要と考える。
- (3) 第二帯水層の水位が第一帯水層よりも低いことから、汚染の第二帯水層への落ち込みが懸念される。揚水によって、第一帯水層の水位を下げられれば、第二帯水層への落ち込みも低減できる。
- (4) まずは、汚染濃度が一番高い所で汲み上げることが効果的でなかろうか。
- (5) これまで一番濃度が高い所は A2 だと思うが、No.17,19 も濃度が高く、予算との兼ね合いもあるが、仮に 3 点で汲み上げができれば、この地域の第一帯水層の水位を下げられ、北東への移流を抑えられる効果が期待できる。